

日付	学科	学年	番号	名前
/				

## 第1章 5 「グリーンの定理」「ストークスの定理」 第1回

**例題**  $C$  を  $xy$  平面上の原点  $O$  と 2 点  $(1, 0)$ ,  $(0, 1)$  を順に結んでできる三角形の周とする. このとき, 次の線積分を 2 重積分に直してその値を求めよ.

$$\int_C \{(xy + y^2) dx + (8x^2 - 4xy) dy\}$$

**解** 三角形の周  $C$  によって囲まれた範囲を  $D$  とする.  $C$  の向きは,  $D$  を左側に見ながら 1 周する向きとする. グリーンの定理より

$$\begin{aligned} \int_C \{(xy + y^2) dx + (8x^2 - 4xy) dy\} &= \iint_D \left( \frac{\partial(8x^2 - 4xy)}{\partial x} - \frac{\partial(xy + y^2)}{\partial y} \right) dx dy \\ &= \iint_D (15x - 6y) dx dy = \int_0^1 \left\{ \int_0^{1-x} (15x - 6y) dy \right\} dx = \frac{3}{2} \end{aligned}$$

1.  $C$  を  $xy$  平面上の原点  $O$  と 2 点  $(1, 0)$ ,  $(0, 1)$  を順に結んでできる三角形の周とする. このとき, 次の線積分を 2 重積分に直してその値を求めよ.

$$\int_C \{(-4xy - 5y^2 + x) dx + (-4x^2 + 6xy + 3) dy\}$$

**例題**  $S$  を半球面  $x^2 + y^2 + z^2 = 4$  ( $z \geq 0$ ) とし,  $S$  の単位法線ベクトル  $\mathbf{n}$  は球面から外向きとする.  $S$  の境界を  $C: \mathbf{r}(t) = (2 \cos t, 2 \sin t, 0)$  ( $0 \leq t \leq 2\pi$ ) とするとき, ベクトル場  $\mathbf{a} = (x + z, x + y, z^2)$  について,

$$\int_S (\nabla \times \mathbf{a}) \cdot \mathbf{n} dS \text{ を求めよ.}$$

**解**  $C$  上で  $\mathbf{a} = (2 \cos t, 2(\cos t + \sin t), 0)$ ,  $\frac{d\mathbf{r}}{dt} = (-2 \sin t, 2 \cos t, 0)$

ストークスの定理より

$$\begin{aligned} \int_S (\nabla \times \mathbf{a}) \cdot \mathbf{n} dS &= \int_C \mathbf{a} \cdot d\mathbf{r} = \int_0^{2\pi} \mathbf{a}(t) \cdot \frac{d\mathbf{r}}{dt} dt = \int_0^{2\pi} (2 \cos t, 2(\cos t + \sin t), 0) \cdot (-2 \sin t, 2 \cos t, 0) dt \\ &= 4 \int_0^{2\pi} \cos^2 t dt = 2 \int_0^{2\pi} (1 + \cos 2t) dt = 2 \left[ t + \frac{1}{2} \sin 2t \right]_0^{2\pi} = 4\pi \end{aligned}$$

2.  $S$  を曲面  $z = 4 - x^2 - y^2$  ( $z \geq 0$ ) とし,  $S$  の単位法線ベクトル  $\mathbf{n}$  の向きは, その  $z$  成分が正であるものが外向きであるように定める.  $S$  の境界を  $C: \mathbf{r}(t) = (2 \cos t, 2 \sin t, 0)$  ( $0 \leq t \leq 2\pi$ ) とするとき, ベクトル場

$$\mathbf{a} = (-y, x^2, 3xz) \text{ について, } \int_S (\nabla \times \mathbf{a}) \cdot \mathbf{n} dS \text{ を求めよ.}$$